

「分子生体応答研究分野セミナー」を開催

2020年2月10日

2月10日（月）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、金沢大学医薬保健研究域医学系 再生分子医学 教授 渡会浩志 先生をお招きして、分子生体応答研究分野セミナーを開催しました。

セミナーでは、「iPS-NKT 細胞によるがんの免疫治療」という演題で、基礎から臨床までカバーする内容で iNKT 細胞補充療法の現状と課題について紹介していただき、現在注目の的であるがん免疫療法を考えるうえで大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等 23 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



分子生体応答研究分野セミナー

日時:2020年2月10日(月)17:00~18:00

場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)

演者:渡会 浩志先生
(医薬保健研究域医学系・再生分子医学・教授)

演題名: iPS-NKT細胞によるがんの免疫治療

通常 $\alpha\beta$ T細胞がMHCに提示されるペプチドを認識する多様性のある集団であるのに対して、iNKT細胞はCD1dに提示される糖脂質に拘束されるインバリエントなT細胞亜群である。またiNKT細胞はエフェクターメモリー様の機能を獲得しているため、生体内においては自然免疫と獲得免疫の橋渡しを担うと考えられています。このiNKT細胞の特徴的な免疫機能を利用して、糖脂質リガンドである α -Galactosylceramide (α -GalCer C26:0, KRN7000)は肺癌、頭頸部癌などに対するアジュバント化合物として、一定の効果を見出しています。しかしながらこの有効性は体内に存在するiNKT細胞の数に依存するため、iNKT細胞数が減少した患者には適応できません。

渡会先生のグループは、iNKT細胞補充療法の開発を目的として、iPS細胞からiNKT細胞を分化誘導させる系の確立に世界に先駆けて成功しました。この研究成果に基づいて、頭頸部癌を対象としたfirst in humanを来年度前半に実施することを計画中とのことです。

本セミナーでは基礎免疫学の視点からiNKT細胞補充療法の現状と課題について紹介していただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)